

## 施策評価調書(2年度実績)

				施策コード	Ⅱ-2-(2)			
政策体系	施策名	商業の活性化とサービス産業の革新	所管部局名	商工観光労働部			長期総合計画頁	87
	政策名	活力と変革を創出する産業の振興	関係部局名	商工観光労働部				

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	多様化するニーズに対応した 商業・サービス業の振興	県産品の販路開拓・拡大による 物産振興

### 【Ⅱ. 目標指標】

	指 標	関連する 取組No.	基準値		2年度			6年度	目標達成度(%)					
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125	
i	県の施策により1人当たり労働生産性が前年度比2%以上向上したサービス産業関連企業数(社)	①	H25、26 平均	30	48	44	91.7%	60						
ii	サービス産業の労働生産性(万円/人)	①	H23	309	365 (H27)	365 (H27)	100.0%	393 (R2)						

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	概ね達成	販路開拓や商品の改良、業務効率化等、生産性の向上につながる取り組みを積極的に支援したことにより、目標値を概ね達成した。	達成
ii	達成	観光関連産業を対象とした人材育成や補助支援及び県産品の商談会やフェアの開催により、生産性向上を図ったことで、目標値を達成した。	

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言により消費が落ち込む飲食店を応援するデリバリーやテイクアウト等の地域の取り組みに対して支援強化を図った。</li> <li>・サービス産業に新しい生活様式を普及・定着させるため、Webを活用して飲食店の感染症対策等の自己診断支援や個店の魅力や強みの「見える化」を図った。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で飲食店や観光関連産業での需要が減少した県産品の販路を確保するため、EC(エレクトリックコマース)を活用した販売促進を強化した。</li> <li>・コロナ禍でも近隣県のバイヤーを招きターゲット別マッチング商談会やオンライン商談会を開催した他、百貨店等の大分フェアへの出展支援等により、取引機会と、商品改良に向けた意見を得る機会を創出することで、県内メーカーのレベルアップを図った。</li> <li>・コロナ禍の中、フラッグショップ(坐来大分)を活用した出張販売や、リモートやVRを活用した県産酒のPRイベント開催等により、県産品の県外へのPRを実施した。</li> <li>・オンライン手法による商談会や自社商品プロモーション動画の制作ワークショップなどの開催により、海外販路拡大にかかるオンライン商談力の強化を図った。</li> </ul>

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	域外消費型商店街等支援事業	54.8	212
②	県産品販路開拓支援事業	109.6	213
	フラッグショップ活用推進事業	33.8	213
	県産加工食品海外展開支援事業	90.7	214
	県産品EC販売拡大支援事業	135.3	214

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第2回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R2.11)</p> <p>・Go Toトラベルの地域共通クーポン(電子クーポン)は、地方の中小店舗では使えるところが少ないので、中小企業のキャッシュレス、デジタル化を進めることが重要。</p>	<p>○大分県中小企業活性化条例推進委員会(R2.12)</p> <p>・小規模事業者もネット販売に参画できるシステムなどがあるとよい。</p> <p>・ECサイト販売などで大分の多様な資源を活かして、域外から資金を取り込み、循環させていくことが重要。</p>
---	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内のキャッシュレス化は飲食店のクレジットカード導入率の伸び率が全国1位になるなど着実に普及が進んだものの、サービス産業はデジタルデータを活用した分析など不十分な状況であることやポストコロナ時代を見据えて、キャッシュレスを起点に先端技術を活用した新たなビジネスモデルへのシフトチェンジを図る。</li> <li>・物産振興では、引き続きECを活用した販売促進を強化するほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を徹底し、百貨店やスーパーと連携した「大分フェア」の開催や、大都市圏バイヤーと県内メーカーとのマッチング支援を行う。海外における販路開拓についても、ジェトロ大分など関係機関との更なる連携強化を図り、未輸出事業者に対するファーストステップ支援を重点的に取り組むなど、県産加工食品の海外販路拡大を図る。</li> <li>・フラッグショップ(坐来大分)の活用では、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底するとともに、新店舗の移転を機に、リモートやVR等の技術を活用した新たな魅力発信イベント開催、百貨店でのオリジナル商品のお中元販売、おんせん県おおいた応援店と連携した県産品の販路拡大など、大分の魅力の更なる情報発信に努める。</li> </ul>